

許可申請書（河川法第55条）の作成及び記載例について

1. 許可申請書の作成について

(1) 許可申請書（様式 甲）

- ①申請者の住所、氏名、連絡先を記入し、押印して下さい。
- ②代理申請の場合は代理人の名前、連絡先を記入して下さい。

(2) 工作物の新築、改築（様式 乙の4）

1. 【河川の名称】：水系名及び河川名を明記して下さい。
2. 【目的】：河川法第55条の許可に係る行為の目的を簡潔に記入して下さい。
(例) ・専用住宅の新築・改築のため
・ブロック積の新築のため
3. 【場所】：左岸、右岸別に申請箇所直近の公図上の地番まで記入して下さい。
4. 【工作物の名称及び種類】
・主要な工作物の固有名詞またはその種類を簡潔に示して下さい。

(例) ・木造瓦葺き二階建
・鉄筋コンクリート造ストレート葺き2階建
・ブロック4段積み
5. 【工作物の構造又は能力】
・主要な工作物の構造、能力、数量等の重要項目を簡潔に示して下さい。また、数量等は添付図面で確認できるようにして下さい。

(例) ・コンクリート基礎 間口〇m 奥行き〇m
・コンクリート基礎 1階床面積〇㎡ 2階床面積〇㎡ 延床面積〇㎡
湿式柱状改良 直径〇mm 延長〇m 〇箇所
・コンクリートブロック4段積 高さ〇m 幅〇m 延長〇m
コンクリート基礎
6. 【工事の実施方法】
・工事の実施にあたっては、工作物を新設に伴う掘削する深さ、盛土の高さ、使用する機械並びに施行の順序等を記載して下さい。

- (例) ・河川区域界から〇m離れた箇所を〇m掘削し、延長〇m 直径〇 mmの湿式柱状改良を〇箇所施工する。その後、バックホーにて〇m掘削して基礎を設置し、建物を建築する。

7. 【工期】：必要最小限で計画し、記入して下さい。

- (例) ・許可の日から〇日間
・許可の日から平成〇年〇月〇日まで
・平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日まで

(3) 土地の形状の変更 (様式 乙の5)

1. 【河川の名称】：水系名及び河川名を明記して下さい。

2. 【行為の目的】

- ・河川法第55条の許可に係る行為の目的を簡潔に記入して下さい。

- (例) ・宅地敷地造成のため
・工場敷地造成のため

3. 【行為の場所及び行為に係る土地の面積】

- ・場所は、左岸・右岸別に申請箇所直近の公図上の地番まで記入して下さい。
・土地の面積は、平方メートル (㎡) 単位として下さい。

4. 【行為の内容】

- ・土地の掘削、盛土、切土、その他の行為の種類及び掘削または切土の深さ、盛土の高さ等を記載して下さい。

- (例) ・盛土量 〇m³
盛土の高さ 平均〇m (最大〇メートル)
堤防に沿う長さ 〇m

5. 【行為の方法】

- ・機械を使用して土地の形状を変更する場合にあっては、その機械の種類、能力及び数を記載して下さい。
・行為に係る土石等の搬出又は搬入の方法及び経路を記載して下さい。但し、これに代わる添付図書があるときは、ここに記載することを省略してもかまいません。

- (例) ・堤防法尻から〇mの位置に〇〇市内の土取場から山土をダンプトラック (10 t) 3台で運搬し、ブルドーザー (11 t) 2台で敷地を造成する。

6. 【行為の期間】：必要最小限で計画し、記入して下さい。

- (例)
- ・許可の日から○日間
 - ・許可の日から平成○年○月○日まで
 - ・平成○年○月○日から平成○年○月○日まで

2. 申請書添付図書について

申請書以外に必要な添付図書は、標準的パターンは以下のとおりとなりますが、申請内容によって異なりますので申請内容を事前に担当出張所へご相談の上、添付図書の作成をお願いします。

- 1) 位置図
- 2) 実測平面図
- 3) 河川横断面図・河川縦断面図
- 4) 工作物の構造図
- 5) 工程表
- 6) 公図写及び土地の権原を示す書面
- 7) 現況写真
- 8) その他必要な書類

3. 申請部数について

| | |
|---------|----|
| 正 | 1部 |
| 副(正の写し) | 1部 |

4. 許可の変更について

- ・許可の内容に変更が生じた場合は、事前に必ず担当出張所へご相談下さい。
- ・変更内容によって、変更許可の申請を行います。変更許可申請にあたっては、変更に関する内容を記載した書類、変更理由書、許可内容と変更内容が対比できる図面、既許可にかかる許可書の写しを添付することになります。